

## 令和7年度 第3回西海市上下水道審議会議事録（要旨）

開催日時：2026年2月9日（月曜日）

13時30分～16時00分

開催場所：西海市役所 第4別館 3階大会議室

出席委員：10名

審議事項：水道料金の改定案（料金単価）について

### 1. 開会および挨拶

司会進行を上水道課担当者により、令和7年度第3回西海市上下水道審議会の開会が宣言された。開会にあたり、西海市上下水道審議会社会長、藤木部長より挨拶があり、将来の安定した経営に向けた適切な判断と、市民の理解を得るための重要な会議であり、委員の協力を仰ぎつつ進めたいとの意向が示された。

### 2. 審議・質疑事項

主な審議事項は以下のとおりである。

前回の要旨：収支均衡と老朽化対策の財源確保のため、今後の財政状況の予測から130%の改定率が妥当と判断された。

料金体系：現行通り二部料金制を維持する。

「口径別料金」や「用途別料金」は、西海市の利用者の9割以上が小口径かつ家庭用である実態に合わないため、今回は導入が見送られた。

### 改定案

事務局より、次に掲げる5通りの改定案を提示する。これらの案のうち、固定費の回収を重視し、経営の安定化に資する「案5：バランス型（固定費回収重視）」を最適案として提言した。

案1：一律引き上げ型・・・基本料金130%、超過料金130%

案2：固定費回収重視型・・・基本料金180%、超過料金100%

案3：応能負担重視型・・・基本料金100%、超過料金150%

案4：バランス型(応能負担重視)・・・基本料金127～129%、超過料金の逦増を3段

案5：バランス型(固定費回収重視)・・・基本料金132～133%、超過料金の逦増を4段

表 案5 水道料金単価表（税込み）

区分	料金						
	基本料金		超過料金				臨時料金
水量	5m <sup>3</sup> まで	10m <sup>3</sup> まで	11m <sup>3</sup> 以上	36m <sup>3</sup> 以上	51m <sup>3</sup> 以上	101m <sup>3</sup> 以上	1m <sup>3</sup> あたり
現行	1,365	1,996	260	260	286	286	545
案5	1,800	2,650	320	355	380	385	710
増減	435	654	60	95	94	99	165

主な質疑事項や意見、またそれらに対する事務局の回答は以下のとおりである。

1. 低使用量者への配慮と基本料金の細分化について

○高齢者の一人暮らし世帯などの負担を抑えるため、基本水量をさらに細分化（3m<sup>3</sup>区分など）すべきではないか。

- 回答：・過去に検討した経緯はあるが、世帯構成で料金を分けるのは判断が難しく、公平性の観点から困難である。
- ・風呂などの生活スタイルは世代間で大きな差がなく、現行の5m<sup>3</sup>・10m<sup>3</sup>区分で十分対応できている。
  - ・基本料金を抑えて超過料金を上げる（中嶋委員提案の120%案など）と、節水が進んだ場合に収益が大幅に減少し、施設の維持管理費（固定費）が賄えなくなるリスクがある。

2. 料金体系の妥当性と大口利用者への影響

○超過料金を大幅に引き上げると、大企業の理解が得られず、近隣自治体と比較しても高くなりすぎるのではないか。

- 回答：・超過料金を150%にする案（案3）の場合、標準的な20m<sup>3</sup>利用で比較すると県内で2番目の高さになり、大口利用者の理解を得るのは極めて難しいと認識している。
- ・超過料金の設定を現行より細分化した4段階とし、使用量に応じた負担を緩やかにすることで、急激な負担増の抑制を図る。

3. 経営改善とコスト削減の取り組み

○料金を上げる前に、一般会計からの繰入状況や未収金対策、支出削減をどう考えているのか。

- 回答：
- ・他会計繰入金：一般会計からの繰入金は、令和6年度は約2億8,600万円、令和7年度は約3億2,400万円と増加傾向にある。
  - ・未収金対策：給水停止や督促等により回収対応を継続している。

- ・支出削減：浄水場の統廃合（西海町の中部・東部浄水場の合併など）を進めており、効率化を図っている。

国が検討している「分散型水道」についても、法改正や補助金の状況を見ながら、山間部などの維持管理コスト削減策として検討していく余地がある。

#### 4. 市民への周知方法

○4段階の超過料金（案5）は複雑になるため、丁寧な説明が必要ではないか。

→回答：議会決定後、広報紙や市ウェブサイトを通じて周知を行う予定である。現在のところ、各自治会を回っての説明会までは想定していない。

### 3. 決定事項と今後の予定

司会進行者から令和7年度第3回西海市上下水道審議会の閉会が宣言された。また、次回審議会の議事事項と開催時期の予定について共有された。

決定事項：水道料金の改定単価は「案5 バランス型(固定費回収重視)：基本料金132～133%、超過料金の逡増を4段」とする方針を決定した。

- ・基本料金を30%強引き上げることで、経営を安定化させる。
- ・超過料金を現行の2段階から4段階に細分化し、使用量に応じた負担を緩やかにすることで、急激な負担増を抑える。

今後の予定：3月を目途に、選定した案に基づいた答申書の作成を進めることとした。次回審議会では、市長への答申内容を審議する予定である。